

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立岐阜商業高等学校 事業実施報告書④

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	<p>学 校 名：岐阜県立岐阜商業高等学校</p> <p>対象学年：本校情報処理科3年生 約10人</p> <p>場 所：岐阜希望が丘特別支援学校（ふれ愛ドーム）</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (課題研究)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>■同じ地域にある他の校種の生徒との交流を通して、作品作りに生かしていく。</p>
5 取組内容	<p>■昨年までは本校生徒が開発したアプリを利用した交流のみであったが、今年は障がい者スポーツフェスタボランティアとして見学と応援を行いその交流を図った。</p> <p>■高等部の生徒による「棒倒し競技」および「閉会式」の見学と手伝い。</p>
6 主な成果	<p>■生徒の感想</p> <p>①いろいろ障がい者を有する人がいたけれど、全員で楽しめるような競技が工夫して行っていました。棒を倒して自分の陣地まで棒を持っていく競技だったのですが、自分で棒を持っていない人も、先生から援助を受けて持てなくても棒を倒すことは自分で行ったりして、なるほどと思いました。これからの交流が楽しみです。</p> <p>②自分で何ができるのか考え、モップかけをしたり、柵の運搬やシートの方付けを率先して手伝うことができ、このボランティアをやってよかったと思いました。</p> <p>③自分から動くことができ、岐阜希望が丘特支の先生から『ありがとう』と言ってもらいました。とてもうれしかったです。生徒さんも一生懸命がんばっていてすごいと思いました。</p> <p>■成果</p> <p>従来と違った交流会であったので、しっかり交流ができるかどうか不安であったが、岐阜希望が丘特支の生徒たちの行動を見ることで人を思いやることの大切さを実感したようである。</p>

	さらに、その後の本校の生徒の様子を見ていると、何事にも一生懸命に取り組む姿勢が見られ、今までの自分自身を見つめなおす良い機会であったと思われる。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	■今回はスポーツフェスタボランティアとして参加するため、岐阜希望が丘特支の生徒たちが行う競技に対して、どのように応援できるか、何ができるかという点について検討した。
8主な課題等	■他の校種との交流の中身について、今後も継続して検討していく。
9来年度以降 の実施予定	■今年のようなボランティアやアプリの利用といった交流を今後も継続していく予定である。